

「スマホを渡しただけなのに・・・」「家庭用ゲーム機でいつの間に・・・」
— 子どものオンラインゲーム課金のトラブルを防ぐには? —

「おうち時間」にスマートフォン・タブレットや家庭用ゲーム機でオンラインゲームを利用して過ごす中で、子どもが保護者の許可なく課金してしまったというトラブルが急増しています。

事例をご紹介します。

- ・小学生の子どもが、友達に「キャリア決済（※）を使うとお金が掛からない」と誤った情報を教えられ、スマホでオンラインゲームに高額課金した。
- ・小学生の子どもが、父親のアカウントを使って家庭用ゲーム機で遊び、アカウントに登録されていたクレジットカードを利用して課金した。

トラブルのきっかけとして目立つのは、両親や祖父母など、保護者のアカウントが登録されたスマートフォン端末や、保護者のアカウントでログインした家庭用ゲーム機を使わせている点です。未成年の子どもが利用したと申し出ても、アカウントの所有者である保護者が決済を行ったと見なされます。

オンラインゲームでアイテムを購入する際には、原則、プラットフォームのアカウントのIDとパスワードが必要ですが、決済時のパスワードを設定していなかった、クレジットカードの管理が不十分だった、決済完了メールを見落とししていたなど保護者の注意不足による問題もあります。

子どもにオンラインゲームを利用させるときは、課金する場合のルールを家族で話し合い、確認、約束をしましょう。

保護者のアカウントで子どものアカウントを管理、保護できる「ペアレンタルコントロール」の機能がゲーム機やOSといったプラットフォームごとに備わっていますので利用しましょう。

また、スマートフォン端末では、保護者のアカウントで子どもに利用させる場合、事前にプラットフォームとキャリア決済のアカウントの設定を確認し、決済時にパスワードが必要になっているか、課金時に決済完了メールが普段利用しているメールアドレスに届くようになっているか確認しましょう。

それでも何らかのトラブルが生じた場合は、お近くの消費生活相談窓口にご相談しましょう。（消費者ホットライン188）（参考：国民生活センターHP）

※キャリア決済：携帯電話会社のIDやパスワード等による認証で商品等を購入した代金を、携帯電話の利用料金と合算して支払うことができる決済方法